

パウダーレスインキ「キレイナ」の実力 (広告)

9. デメリットをカバーするメリットを享受 [大和写工印刷]

大和写工印刷(株)(渡辺邦宏社長,従業員22人)は、新潟県三条市で1961年に創業した、チラシや取扱説明書、パンフレット、ラベルなど商業印刷中心の印刷会社である。渡辺社長は3代目にあたる。三条市は都心のような分業体制の会社は少なく、同社もデザインから印刷、打ち抜き加工まで、一連の工程に対応している。

印刷機は全部で4台保有しているが、菊全判3色両面兼用機を保有しているユニークな会社でもある。片面印刷では特色3色や墨なし3色のカラー印刷、両面印刷では表2色・裏1色の仕事が多いそうだ。

小ロット POD から 大量商業美術印刷まで

同社の得意分野(製品)は、一言で言うとな述のように商業印刷物になってしまうが、その内容は、デザイン名刺、ショップカード、スイングPOP、テーブルテント、丸ラベル、パッケージ、陳列什器台紙、大型什器、ブリスト台紙、CDジャケット・レーベル、領収証・伝票、賞状、封筒、社内報、会社案内、ポスター、パネル、バインダー、ジャバラ折り印刷物など、紹介すると多岐にわたる。詳細なテクニカルイラストを駆使した取扱説明書や、細かな後加工も得意だ。

新潟での第1号

パウダーレスインキ「キレイナ」との出会いは、それまでも耳にはしていたが、2014年6月に前橋で開かれた設楽印刷機材の展示会に遡る。印刷

機のオペレータも兼ねている渡辺和彦取締役が興味を持ち、会社に情報を持ち帰った。

その後、勉強会を実施。これには、製造部のほか大半の社員が参加した。そして4人の印刷機オペレータが相談しながら、翌7月に1週間ほど印刷テストも兼ねて本刷りを行った。その後、すぐに実運用となり、新潟県における「キレイナ」採用第1号の会社となった。

キレイナを使う前までは、御多分に漏れず、同社でもスプレーパウダーが原因のクレームで困っていた。印刷のほか後加工でもパウダーが悪さをする問題も起こっていた。しかしキレイナにして、インキの裏移りもなくなり、クレームは激減した。

パウダーの散布量は、従来の3分の1程度にして問題ないという。重たい絵柄やセットの遅いファンシー系のような紙の場合は3分の1以上にすることもありますが、平均して、3分の1程度だという。また、パウダーレス印刷は、不可能ではないのだが、安全を考えるとこのくらいの量になるとのことだ。同社ではあまり多くはないが、ページもののような墨文字だけの印刷であれば、も



菊全判3色両面兼用機。このほか菊全判2色機、菊半裁判4色機、A3判単色機などすべてのオフセット枚葉機でキレイナを使っている

ちろんゼロで行える。

もう少し定量的にいうと、以前は1ヵ月に一箱スプレーパウダーを使っていたが、今では3ヵ月に一箱になっているとのことで、やはり3分の1に減少している。

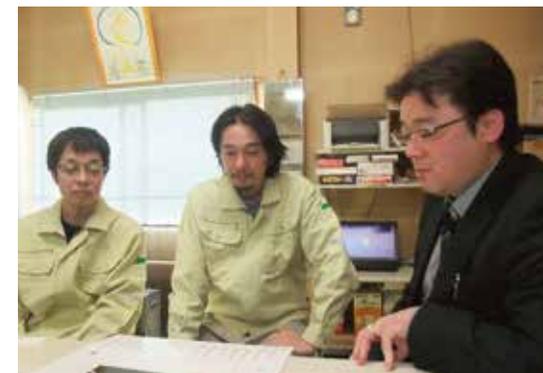
パウダーが減るとすべりが

「キレイナ」には、パウダーレス印刷を可能にする仕組みとして、4つの新しい特殊素材を採用しているが、同時にパウダーが担っている役割(裏移り防止、酸素空間、滑り性など)もインキに付与している。

同社ではキレイナを使用していく中で、上からの力(圧)には強いが、横の力(擦れ)に弱いことがわかってきた。紙揃え機などでは注意を払わなくてはならなかったが、メーカーに状況を伝え、改良が加えられた。

また、パウダーが減った分、後加工の折りなどで印刷物の滑りが悪くなったが、デメリットというほどでもない。

逆にパウダーが減ったメリットの方が大きい。印刷機周りの清掃は、回数は減らしていないが、簡単な掃除で済むようになり、時間短縮になった。さらに、上がり面印刷時のブランケット洗浄などは、これまで2000~3000枚通して1回行っていたものが、5000枚通して1回になり、印刷機



右から、渡辺邦宏社長、渡辺和彦取締役、土田豊策プリンティングオペレーター・チーフ

の停止回数が減ったことで、時間のロスだけではなく、再スタート時の損紙低減にもつながっており、片面機で両面印刷している印刷会社にとってはとてもありがたいという。

和紙風の包装紙

同社は、商品をフックなどにかける陳列什器のボール台紙や、和紙風の包装紙の印刷など多いそうだが、キレイナを採用してからブラン残りする紙粉が減り、その洗浄回数も減った。

同社の特長の一つとも言える包装紙の印刷で「大きな効果をもたらした」(渡辺社長)とのことだ。大和写工印刷が使う枚葉平版オフセットインキは、一部の特色を除き、すべてキレイナになってしまった。(つづく)

革新的なパウダーレスインキ「ベストワン KIRÉINA」誕生。

キレイナ印刷
キレイナ加工
キレイナ機械
キレイナ工場

BEST ONE
KIRÉINA

T&K TOKA

株式会社 T&K TOKA <http://www.tk-toka.co.jp>
TEL 049-258-1611(代表) 埼玉県入間郡三芳町竹間沢283-1 〒354-8577